

平成 28 年度 デイサービス事業計画評価

事業目標	
<p>◎サービスの質の向上に努めます。</p>	<p>○サービスの提供・評価を適切に行い、自立支援に向けたサービス提供に努める。</p> <p>○居宅事業所等と情報を共有し、より良いサービスが提供できるよう連携を図る。</p> <p>○施設内・施設外研修に積極的に参加し、ケアの知識と技術を高める。</p> <p>○認知症予防や中重度ケアを含めたレクや行事（身体機能の維持向上や楽しみながら実施できるもの）を企画する。</p> <p>○専門性の育成に向けた資格取得の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職員の資質向上のため、介護福祉士、介護支援専門員等の資格取得に向けた研修（認知症実践者研修、初任者研修、実務者研修、介護支援専門員実務者研修等）への受講の支援を行う。
総評	
<p>○居宅介護計画書を基に、通所介護計画書、通所介護評価表を作成しています。毎朝のミーティング時に通所介護計画の共有のためプランの確認を行うことで、ケアの統一を図っています。評価は毎月担当が実施し、不十分な点は、生活相談員が目を通し指導を行うことにしています。</p> <p>○居宅支援事業所には毎月利用状況（評価）を持っていき、その場で情報交換を行っています。月の途中でも、必要があれば、その都度居宅支援事業所のケアマネジャーに報告を行い、情報の共有を図るなど関係性の構築を進めています。</p> <p>○内部・外部の研修に参加しています。外部研修後は、職員への伝達講習を合わせて行い、職員の質の向上に努めています。法人の施設内研修では、感染症や認知症等の利用者を支援する上で必要な知識を得てスキルアップに向けて進んでいます。在宅サービス職員を対象とした勉強会も月1回開催しており、職員からの意見をもとに勉強会の内容を決定しているため、より身近な課題として学ぶことができます。また、順番に研修指導者となることで、研修を実施する側としての知識を得られる機会を設けました。</p> <p>○毎月、利用者の意向を確認しながら行事の立案を行っており、楽しみの中にも心身が活性化できるような目的を持って実施しています。また、日常的な活動においては、一部の利用者には得意なこと・好きなことを活動に反映させ、自宅に帰ってから生き生きと生活できるような生きがい・役割作りに取り組みました。一部の利用者だけでなく、全員の利用者の活動に、嗜好を反映できるような体制作りが課題となりました。</p> <p>○平成 28 年度は、介護職員実務者研修を 1 名が終了し、介護福祉士の国家試験に 1 名が合格しています。</p>	

事業目標	
◎感染症防止に努めます。	○感染症対策の研修を行い、職員の感染症に対する意識付け・知識・防止策の方法を高める
総評	
○食中毒や感染症の流行期を基準に、年間を通し衛生委員会が中心となり感染症関連の研修を開催しています。今年度も10月より感染症予防月間を実施し、合わせて出退勤時の嗽・手洗いの徹底を行うことで、感染症等の蔓延は見られませんでした。	

事業目標	
◎地域交流を深めます	○法人の地域貢献事業計画に基づいて実施する
総評	
○法人の地域貢献事業計画参照	

事業目標	
◎基準該当サービス事業所として、障害者のサービス支援に努める	○障害者の生活介護等のサービスの支援を行う
総評	
○障害者の受託事業（基準該当サービス）として、入浴や生活リハビリの支援を継続して取り組み、在宅での障害者の自立支援と介護者の介護負担軽減に努めました。障害の種類により身体状況が大きく異なり、一人一人の障害の状況に合わせたケアが求められ、職員が統一した方法で援助できるよう、情報共有や介護技術の取得に努めました。	